

第10回宇宙開発委員会（定例会議）
議 事 次 第

1. 日 時 平成4年6月17日（水）
 午後2時～2時半
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について

 (2) 宇宙往還輸送システムに関する調査審議について

 (3) 宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）2号機の打上げ計画について
4. 資 料 委10-1 第9回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

 委10-2 宇宙往還輸送システムに関する調査審議について（案）

 委10-3 宇宙実験用小型ロケット2号機打上げ計画書（案）

第 9 回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成 4 年 6 月 1 0 日（水）
午後 2 時～2 時半
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 宇宙ステーション計画の安全に関する調査審議について
4. 資料 委 9-1 第 8 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委 9-2 宇宙ステーション計画の安全に関する調査審議について（案）
5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	久良知 章 悟
" 委員	野 村 民 也
" "	曾 山 克 巳
" "	田 島 敏 弘
関係省庁	
通商産業省機械情報産業局次長	牧 野 力（代理）
運輸省運輸政策局次長	向 山 秀 昭 "
" 気象庁総務部長	山 下 哲 郎 "
郵政大臣官房審議官	大井田 清 "
事務局	
科学技術庁長官官房審議官	沖 村 憲 樹
" 研究開発局宇宙企画課長	興 直 孝
	他
6. 議事
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 第 8 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委 9-1）が確認された。
 - (2) 宇宙ステーション計画の安全に関する調査審議について
 事務局から、資料委 9-2 に基づき説明が行われた後、原案どおり決定された。

宇宙往還輸送システムに関する調査審議について（案）

平成4年6月17日

宇宙開発委員会決定

1. 趣旨

我が国における宇宙往還輸送システムについては、宇宙開発政策大綱において、H-II ロケット打上げ型有翼回収機に関し「開発を目指し研究を進め、その成果を踏まえ実用に供する。」とされている。

これまでのH-II ロケット打上げ型有翼回収機の研究の結果、宇宙往還輸送システムについて技術的実現性の目途を得つつあり、平成4年度は基盤技術の確立を目的として、要素技術研究とともに、H-II ロケット試験機1号機による軌道再突入実験（OREX）を行うこととしている。

一方、米国においては、当面は現有する4機のスペースシャトルを運用する予定であり、欧州においては、エルメスを我が国、ロシア等と連携しつつ開発すべく検討が進められている。

このような宇宙往還輸送システムに関する我が国での研究の進展及び諸外国の情勢の変化を踏まえ、今後の我が国の宇宙往還輸送システムの研究開発の在り方に関し調査審議を行うこととする。

2. 調査審議事項

- (1) 宇宙往還輸送システムの研究成果の評価
- (2) 宇宙往還輸送システムの研究開発の意義
- (3) 今後の宇宙往還輸送システムの研究開発の進め方
- (4) その他重要事項 あかつきの計画の進捗状況

3. 調査審議の進め方

宇宙開発委員会に宇宙往還輸送システム懇談会を設置し審議を行う。なお、適宜、中間報告を行い、最終的な報告の取りまとめは平成5年6月頃に終えることを目途とする。